

# 学校法人 育英学院

## 平成29年度 事業報告

### 1 法人の概要

#### (1) 法人の位置

(平成29年5月1日現在)

本学院名	設立年月日	理事長名	住 所	電話・FAX
学校法人 育英学院	昭10.4.1設立 昭15.2.22財法 昭26.2.26学法	並木 豊勝	東京都町田市小山ヶ丘四丁目6番8号	TEL 042-775-3020 FAX 042-775-3023

#### (2) 法人の設立目的

この法人は、教育基本法及び学校教育法に従いつつ、カトリックの教育精神及び設立母体であるカトリック・サレジオ修道会の創立者ヨハネ・ボスコの教育理念に基づく学校教育を行い、社会に有為な人材を育成することを目的とする。【学校法人育英学院寄附行為 第3条】

#### (3) 法人設置の学校

(平成29年5月1日現在)

学校及び学科名	設置年月日	校長・園長名	住 所	電話・FAX
サレジオ工業高等専門学校	昭37.12.15	小島 知博	東京都町田市小山ヶ丘四丁目6番8号	TEL 042-775-3020 FAX 042-775-3021 URL <a href="http://www.salesio-sp.ac.jp">http://www salesio-sp.ac.jp</a>
デザイン学科	昭37.12.15			
電気工学科	昭37.12.15			
機械電子工学科	平元.12.22			
情報工学科	平元.12.22			
専攻科 生産システム専攻	平13.2.15			
サレジオ中学校	昭23.3.24	北川 純二	東京都小平市上水南町四丁目7番1号	TEL 042-321-0312 FAX 042-321-0776
サレジオ小学校	昭22.3.29			
目黒サレジオ幼稚園	昭24.8.30	グロゴウスキー パウロ	東京都目黒区碑文谷一丁目26番24号	TEL 03-3714-2531
足立サレジオ幼稚園	昭42.3.13	吉田 利満	東京都足立区江北三丁目40番27号	TEL 03-3899-4497
町田サレジオ幼稚園	平27.4.1	小島 知博	東京都町田市小山ヶ丘四丁目6番2号	TEL 042-775-3120

#### (4) 学生・生徒・園児の現況 (平成29年度)

(平成29年5月1日現在)

学校名	職名	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	専攻科 1	専攻科 2	合 計
		3歳児	4歳児	5歳児			専攻科			
サレジオ工業高等専門学校	人	(180)182	(180)189	(180)191	(180)180	(180)133	(14)12	(14)15	(928)902	
専攻科							(14)12	(14)15	(28)27	
デザイン学科		(45)37	(45)40	(45)42	(45)36	(45)33			(225)188	
電気工学科		(45)42	(45)44	(45)46	(45)38	(45)26			(225)196	
機械電子工学科		(45)40	(45)56	(45)56	(45)51	(45)33			(225)236	
情報工学科		(45)63	(45)49	(45)47	(45)55	(45)41			(225)255	
サレジオ中学校		(30)21	(30)30	(30)27					(90)78	
サレジオ小学校		(30)21	(30)16	(30)20	(30)21	(30)20	(30)22		(180)120	
目黒サレジオ幼稚園		(110)103	(170)144	(170)144					(450)391	
足立サレジオ幼稚園		(20)19	(110)30	(110)32					(240)81	
町田サレジオ幼稚園		(60)21	(60)37	(60)23					(180)81	
計		(430)367	(580)446	(580)437	(210)201	(210)153	(44)34	(14)15	(2068)1653	

## (5) 学校法人役員&lt;理事・監事&gt;

(平成29年5月1日現在)

役 職	氏名
理事長<互選>	並木 豊勝
理事<高専 校長>	小島 知博
理事<中学校長>	北川 純二
理事<評議員互選>	グロゴウスキー パウロ
理事<評議員互選>	濱邊 正
理事<評議員互選>	木戸 能史
理事<功勞者>	米本 光男
理事<功勞者>	小島 勉

役 職	氏 名
監 事	渡 辺 新
監 事	長 谷 川 純 也

※理事定数：6～8名

※監事定数：2名

## (6) 評議員(定員18名) 氏名省略

## (7) 教職員の現状

(平成29年5月1日現在)

学校名 \ 職名	校長 園長	教授	准教授	講師 教諭	助教 助手	非常勤 講師	事務 職員	非常勤 職員	合計
法人本部	人	人	人	人	人	人	3 人	人	3 人
サレジオ工業高等専門学校	1	11	24	8	5	48	20	14	131
サレジオ中学校	1			9		1			11
サレジオ小学校	(1)			9		2	1		12
目黒サレジオ幼稚園	1			20		2	3	12	38
足立サレジオ幼稚園	1			4		3	1	3	12
町田サレジオ幼稚園	(1)			4		9	1	3	17
計	4	11	24	54	5	65	29	32	224

※ 校長・園長の ( ) は法人内他校兼務者

## 2 法人本部の方針

- ① 内部監査のチーム編成と強化並びに監事との連携
- ② 規則・規程の見直しと改正
- ③ 法人本部業務体制の強化
- ④ 人件費の維持と抑制
- ⑤ 事業支援 (主として目黒サレジオ幼稚園)

## 3 高等教育事業(サレジオ工業高等専門学校)の概要

少子化、若者の工学離れという高等教育機関を取り巻く環境は依然として厳しい状況であり、学校経営への影響は確実に顕在化しつつあります。厳しい競争環境のなかで、本校が勝ち抜き、生き抜いていくためには、原点である建学の精神に基づくミッション(使命)を大切にし、教育研究の充実を図り「選ばれるサレジオ高専」を目指して、教職員一同が校長方針のもと、一致団結して邁進することが重要です。そのために19年度に発表した経営ビジョンをふまえて中期計画を実行しています。平成29年度は第四期の中期経営目標(平成28-30年度)の2年目となります。

5年間一貫の特色ある教育を行う高等教育機関であり、唯一の私立ミッション系高専として創立者ヨハネ・ボスコの精神を教育活動に活かし、よき社会人、よき技術者を日本社会に送り出し、地域連携、産官学連携によって開かれた高専になることを目指して、中期経営目標の第四期目における単年度事業計画を策定しました。

## (1) 教育・研究力の強化

### <1> JABEE の受審

平成 26 年度に受審した JABEE を平成 29 年度に再受審しました。3 年前に受審した際に、改善の指摘を受けた項目は審査の結果合格しました。別の指摘を受けたのでこれについて今後、改善に向けて取り組みます。

### <2> 教職員によるアシステンツァの実践強化

創立者の教育法であり、また本校の教育法でもある予防教育法を理解するとともに、この教育法を実現する手段であるアシステンツァ（ともにいて指導する）の実践を学校全体で実施しました。朝の通学路指導の際に学生の代表たちが教員に加わりあいさつをするなど、これまでにない取り組みを行いました。

### <3> 研究環境の整備と推進

平成 28 年度に引き続いて、教員の研究環境の整備を私学財政の厳しい中で、教育研究の改善を図りました。科研費の取得者を増やす取り組みは継続し、共同研究を推進することで、教員全員が科研費や産学連携による研究奨励金の申請に取り組みました。（6 名）

教員が専門分野の研究を深めるとともに学生を必ず巻き込んだ研究を行い、また研究に関しての産学連携を推進しました。

### <4> 退学者の減少

増加傾向にある退学者の数を減少させられませんでした。2 年前の文部科学省の改善への指摘事項にも挙げられていますので、改善に向けてさらなる具体的な取り組みを行います。

## (2) 社会貢献力の強化

### <1> 小中学校への協力

新入生獲得のためである募集活動の一環としてこれまでのように小中学校から特別授業の依頼を受けると教員を派遣しました。また近隣中学校の中学生を招聘してのサッカー・バレーボールの競技大会も継続しました。またデザイン学科の募集状況を鑑みて、中学校の美術教員（都内中学校教員の美術部会）との連携を図りました。

### <2> 産学連携の推進

大学コンソーシアムへの参加とその成果はサレジオ高専の存在感を示す場となりました。また町田、相模原大学コンソーシアムへ加盟し、市民大学、産学交流などに協力しました。これらを通じて近隣 3 市に対する地域交流をさらに積極的に推進し、地域に立地する企業や自治体との交流・連携を密にし、本高専の地域における貢献度をあげる取り組みをしました。

### <3> 学校広報の推進

本校の教育活動全般や教員の研究業績をホームページに掲載しました。また財務状況や各種事業に関する報告書・資料等をホームページに掲載、開示することで、オープンな経営を実現しています。本校のホームページでさらに新しい情報が発信できる環境を作りました。ウェブネットワークを通じて企業や地域社会だけでなく卒業生とも広くコミュニケーションを図り、交流することで本校のプレゼンスを高めるようにしました。

### <4> 地域社会との連携事業

平成 20 年から始まった地元広報誌（アレサ）制作による町田市小山地区の町内会、商栄会、商工会議所との交流活動や今年度 11 年目を迎える八王子の「いちよう塾」の講座を継続しました。また相模原市・座間市の主催する市民大学の講座へも協力することや学校施設の市民開放を可能な限り進め、地域市民に対する文化拠点となることを目指しました。26 年度に発足した「サレジオ高専地域交流協議会」との連携をさらに強めて地域の行事に参加するなど小山・小山ヶ丘地域での本校のプレゼンスを高める取り組みをしました。

### (3) 経営力の強化

#### <1> 受験者数の増加を目指して

平成 29 年度生募集では、200 名の入学者になりました。7 年連続の定員確保となりました。現在の入試方法で定員数を確保することができるようになりましたが、学生間の学力の差が大きいという問題があります。学力一斉試験が望ましいのですが、受験者の総数が 300 名しかいないために入試方法を変更することが不可能です。一斉試験実現にむけて受験者総数の増加を目指します。中計第四期では総数 400 名を目標数にして募集活動を行います。また退学者数の減少の取り組みを継続することで、在籍者数 900 台維持を目指し消費収支の均衡へさらなる努力をいたします。

#### <2> 長期計画の立案のスタート

大規模修繕の計画を進める中、本校には修繕費を含む内部留保資産の積み上げが薄いことがより大きな問題として文科省の指摘により強く認識されました。そのために毎年 5,000 万円の積み上げを目標に、予算編成の見直し、ムダの削減にこれまで以上に意識的に取り組んだ結果、1,000 万円の積み上げをしました。金額を上げる努力を続けます。

#### <3> 人財（材）育成

次世代のリーダーになる教職員に SMS「サレジオ・マネジメント・システム（目標管理で仕事をする）」の理解の一層深める機会を与えることができませんでした。また評価者である管理職の評価方法へのいっそうの理解を促すための研修を行いました。SD(Staff Development)の組織を作り、評価者の研修や研修費の不正使用などの危機管理意識高揚のための研修などに取り組みました。

#### <4> 人事・給与体系の再構築

昨年度、新たな人事・給与制度を完全に導入しました。人事・給与制度の根幹となる 3 つの評価（業績評価、行動評価、目標評価）については内容の見直しの必要があり、見直しをする予定でしたが実現しませんでしたので、次年度（30 年度）に実施することにしました。

### (4) 特記事項：サレジオミッションの実践

#### <1> 司牧目標

サレジオ会の指導方針であるサレジオ・ストレンナに述べられている「ドン・ボスコの生き方にならい、神さまの呼びかけに応じて生きよう」の精神を本高専の教育目標に照らしつつ実現することを目標とし、特に「神からの呼びかけに気づいて、応える」ことをどのように伝えるか工夫をしました。

## 4 幼児教育並びに初中等教育（小中学校・幼稚園）の概要

### (1) サレジオ中学校・小学校

#### <1> 総括

#### ①「We Are Family! - Every Home, a School of Life and Love -」（わたしたちは家族！“家庭”は命と愛の学び舎）

本校に関わるすべての児童生徒・保護者・教職員にとって、神様と周囲の人々から愛されていると実感し、優しさを体験し、感謝すること、ゆるしを願うことを学ぶ生活の場として、サレジオ小学校・中学校が、ひとつの家庭として、児童生徒・保護者・教職員が互いに対話を通して理解し合い、優しさを示すことによって心身の成長を体験する救いの場となるように努めた。

#### ②教職員のキリスト教的・サレジオ的養成

積極的に司牧部の活動に励んだ。宗教行事や司牧部の活動だけではなく、学校活動のすべてが、福音を伝えるものでなければならず、その意識を全教職員が共有できるように、教職員養成講座やサレジオ会夏季教職員研修会、サレジオ会協働者の集いに教職員を派遣した。

### ③施設・設備等の管理・修繕・整備

体育館修理、中庭タイルの修理などを実施した。平成29年4月から導入する、緊急時一斉メール配信サービス（すぐメール）の運用を開始し、台風時や避難訓練などに利用した。

#### <2> 児童・生徒募集

##### ①募集活動概要

小学校 「東京都私学フェア」（資料のみ）、「中央線沿線私立小学校合同相談会」  
中学校 「東京私学第11支部合同説明会」、「東京都私学フェア」  
学校説明会 小学校2回、中学校3回、学校ホームページの活用、受験サイトへの広告、バス広告

##### ②児童生徒数

小学校	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
平成29年度	21	16	20	21	20	22	120
平成30年度	16	22	19	21	21	21	120

中学校	1年生	2年生	3年生	合計
平成29年度	21	30	27	78
平成30年度	24	22	30	76

#### <3> 創立70周年関連

##### ①学校紹介ビデオの制作

2017年度中にはできなかったが、2018年5月11日に撮影を実施した。夏季休暇前には完成する予定。

##### ②マリア像の設置

創立70周年記念のひとつとして、足立サレジオ幼稚園からもらい受けたマリア像を正門横に設置した。聖母マリアのご保護を願い、学校全体に宗教的な雰囲気を醸成させる。加えて、近隣にカトリック・ミッションスクールの存在をアピールすることができた。全校児童・生徒と保護者の希望者が儀式に参加し、大変意義のあるときを持てた。子どもたちの聖母に対する意識も向上した。また、聖母像設置中や設置後に、通行人の方々からいろいろな言葉をかけてもらうことや、通学中の他校の子どもたちの中にも聖母にあいさつをするなど、近隣の方々にもアピールになり、よい影響も与えていると思う。

#### (2) 目黒サレジオ幼稚園

##### <1> 教育方針

【園のことば】 きよいところ げんきなこども

創立者ドン・ボスコの教育理念である「宗教」「理性」「慈愛」を根本にして、家庭と密接に協力しながら明るく暖かい雰囲気づくりを目指す。又、幼児自身が愛されている体験を通して自ら神と人を愛する心、豊かな品性と国際的素養を身に付け円満な人格形成を目指し明るい社会人になるように育成する。

##### <2> ドン・ボスコの教育の要約

子どもを教育するには、①理性に基づいて個性を伸ばす保育室、②宗教心をはぐくむ良く祈る教会、③慈愛深く良く遊ぶ運動場、の3つの場所が必要である。特に宗教心の育成については具体的にドン・ボスコの教育における宗教教育を実践するために以下のようなことに取り組んできた。

- ①日常の中での祈り、神父様による宗教の時間
- ②行事の中で：聖母祭、クリスマス会、創立者ドン・ボスコのお祝いなど
- ③保護者の希望者に向けて月2回聖書と祈りの集い、さらにカトリック要理のクラスを開設

### <3> 教師のあり方

- ①園の教育理念を深め、共通理解のもとに保育に取り組む
- ②一人一人の園児に積極的に関わり、子どもの状況をよく把握する
- ③子どもたちがのびのびと活躍できるような環境の設定を心がける
- ④思いやりの心とけじめのある態度を、教師自らが手本となって示す。
- ⑤職員・園児・父母の相互間の報告、連絡、相談を密にし、常に反省する姿勢を持つ。
- ⑥月1回、サレジオ会司祭から宗教教育についての研修を受け、カトリックの精神を身に付ける。

### <4> 家庭

- ①年頭に、教育理念を全父母に伝える。
- ②家庭教育・幼稚園教育の大切さを理解して頂くよう、機会ある毎に願います。  
(家庭と幼稚園の教育観の一致、協力をお願いする。ー公共ルールや、躰などー)
- ③親自身が子どものお手本になるよう心掛けていただく。

### <5> 年間努力目標

- ①幼稚園全体として：思いやりの心を持ち、何事にも意欲的に取り組む
- ②学年ごとの目標：  
<すみれ> (3歳児) 様々な環境に慣れ、園生活を楽しむ  
<ゆり> (4歳児) 集団生活に必要な態度を身に付ける  
互いの気持ちを伝え合いながら友達と関わる  
<ばら> (5歳児) 状況の判断力を養う。感謝と思いやりの心を育む

### <6> 財務関係予算方針

#### 基本方針

- ①園舎の老朽化が進み、補修や修理では補えない状況が多くある為、予定通り園舎の改築を進める必要があった。しかし、建築費の高騰のため、状況を踏まえつつ、新園舎の建築を進めていく方針となった
- ②施設設備関係として、ガス管の取替工事を行った
- ③人件費支出について、大学新卒の初任給の改善を行った

### <7> その他

- ①預かり保育の終了時間を、17時までから18時までに延長したことにより、需要が増えた
- ②平成30年4月より保育時間30分延長を決定した
- ③平成29年度内には完成しなかったが、平成30年度4月よりホームページをリニューアルした

### (3) 足立サレジオ幼稚園

<1> 教育目標：サレジオ会の事業として、ドン・ボスコの教育法の3本柱「宗教・愛情・納得」の実践に励んだ

- ①宗教、道徳教育に力を入れる（心に語りかける教育）
- ②常に子どもに寄り添い、愛情に満ちた指導をする（アシステンツァの精神）
- ③納得の得られないままでの要求はしない（納得に基づく指導）  
→毎日の保育と週単位の活動・年間行事の中で、積極的な姿勢をもって実践

### <2> 教職員の資質の向上

- ①全職員が建学の精神、教育目標を心に刻みながら取り組むことが実践できた
- ②障がい児、あるいはその線上にいる子どもの指導法を、対象となる園児のいるクラス担任をはじめ、積極的に取り組む姿勢をもって実践できた
- ③『サレジオ家族教職員養成講座』へ可能な限り全職員が参加し、意識を深めるように努めた
- ④教職員の保育後の仕事内容を見直し、効率化をはかるために、仕事内容を明確にし、全教職員で意識を共有する取り組みをした。

<3> 設備ならびに財務関係予算方針

- ①園庭遊具の塗裝修繕を実施
- ②私立幼稚園等環境整備補助金制度で園庭遊具のブランコとブランコマット（設置場所は滑り台）を購入
- ③バス通園の希望者が増えた事により通園バスを購入

(4) 町田サレジオ幼稚園

<1> 教育目標

南多摩の自然に囲まれた明るい雰囲気の中で、のびのびと活動することで明るい心、おもいやりのある親切な心、素直で正直な心を育てる。

- ①隣接する小山内裏公園に行き、自然に触れる機会を増やした
- ②年少、年中、年長の3学年が揃い、学年間の交流を持つことで人間性の成長をはかった
- ③発達が遅く、ケアの必要な数名の園児への対応とその他の園児のケアのバランスを考え、サポート体制を整え、外部の機関と連携してサポートの必要な園児の成長を支えた

<2> 財務関係予算方針

①施設関係

建物の改修については、床下の水の対策、デッキの不具合の修理、建物内の壁の汚れ対策を行い、引き続き継続していくことになった

②備品調達

園児数の増加、クラス数の増加による不足備品について、優先順位を決めて購入した。

③広報関係

開園して間もないこともあり、認知度を上げることが急がれるため、タウンニュースや新聞折り込みなどを通じて本園の存在を広く伝える取り組みを行った。